

**2015年 新年賀詞交歓会 杉森社長挨拶(要旨)**

当社（社長：杉森 務）は1月9日（金）、ザ・プリンス パークタワー東京（東京都港区）にて、特約店や物流協力会社の方々、約1,000名をお招きして、2015年新年賀詞交歓会を開催いたしました。

当社社長 杉森 務の挨拶（要旨）を以下のとおり、お知らせいたします。

本日は、「2020年に向けた挑戦」と題して、各エネルギー事業における展開構想についてお話しいたします。2020年をターゲットとする理由は、新日本石油とジャパンエナジーが統合してJX日鉱日石エネルギーが設立されてから10年という節目の年であること、また、東京オリンピック・パラリンピックというワールドワイドでの一大イベントが開催される年であるからです。当社は、東京オリンピック・パラリンピックを、総合エネルギー企業として事業領域の拡大を図る大きなチャンスと捉えております。「2020年に向けた挑戦」として、「次世代の柱になる新たな事業の育成」について3点申し上げます。

1点目は、「水素事業」です。東京オリンピック・パラリンピックを契機として水素社会を実現すべく、サービスステーション一体型の水素ステーションを展開してまいります。現在、2015年度までに四大都市圏を中心に40か所の水素ステーションの整備を目指しておりますが、2020年に向けて、水素供給インフラ事業のリーディングカンパニーとしてのプレゼンスを確立してまいります。

2点目は、「電気事業」です。当社は、2016年に電力小売市場の全面自由化が予定されていることを踏まえ、家庭用電力小売事業に参入することを決定いたしました。また、事業規模の拡大に向け、鹿島製油所や水島製油所において、発電設備の建設を予定しております。当社の強みは、全国に広がる製油所・油槽所・基地等の自社インフラや、燃料となる石油・天然ガス・石炭等の調達力、製油所・発電所運営で培った技術力を有することです。2020年には、この強みをフルに活かして、成果が出せるよう「挑戦」してまいります。

3点目は、「石油精製販売事業の海外展開」です。当社は、東南アジアにおける燃料油事業の強化・拡大の一環として、2つのプロジェクトを展開してまいります。インドネシアの国有企業であるプルタミナのバリクパパン製油所の改修プロジェクトや、ベトナム最大手の石油製品販売会社であるペトロリメックスへの出資と製油所新設プロジェクトへの参画について検討することとしております。

また、国内の石油精製販売事業については、これまで同様、「コアビジネス」として、強靱で収益力のある生産体制と販売体制の構築に努めてまいります。生産体制については、国際競争力のある製油所、製造所ネットワークの再構築を図り、販売体制については、特約店とSSの収益力強化に向けて、特約店の皆さまの一層の強いお取り組みをお願いいたします。当社も、JXグループ総力を挙げてサポートをさせていただきます。

「2020年に向けた挑戦」と題して、各エネルギー事業における展開構想をお話ししましたが、これらは、当社だけではなく、特約店の皆さまと共に取り組んでいくものと考えております。2020年に向けたこの5年間は勝負の期間であり、2015年は「挑戦」の始まりの年にしたいと思います。当社は、これまで皆さまとの長年にわたる「対話」によって築きあげてきた「信頼関係」を地盤に、圧倒的No.1の競争力を持った「ENEOSグループ」を目指し、「挑戦」してまいります。皆さまと一体になり「オールENEOS」として2020年に挑んでいきたいと存じますので、共に力を合わせて明るい未来を切り開いていきましょう。

以上